

タイマ/センサ コントローラ

FRC-3T、3TA

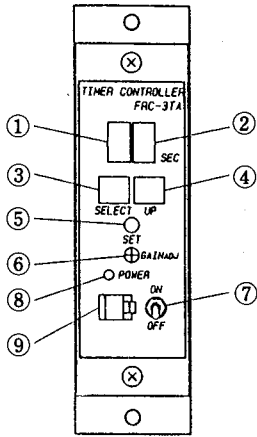
説 明 書

## 各部の機能と調整順序

接続に誤りが無いか再確認してください。特に、+-の極性の誤りがあると装置を破損することになりますから注意してください。

図1 にパネル表面の各部の名称を示します。

図1 FRC-3TAパネル表面各部名称



番号	名称
1	表示器 (1)
2	表示器 (2)
3	セレクト釦
4	アップ釦
5	セット釦
6	センサ感度調整
7	電源スイッチ
8	電源表示灯
9	フューズ(1A)

### (1) タイマの種類と時間

1. タイマ1：起動遅れ時間 (ONディレイタイマ) : 調整幅 0～9.9s
2. タイマ2：停止遅れ時間 (OFFディレイタイマ) : 調整幅 0～9.9s
3. タイマ3：ワーク無アラーム用 (ONディレイタイマ) : 調整幅 0～39.s

### (2) FRC-3TA

1. 電源スイッチ⑦をONにします。<電源表示灯⑧が点灯し、表示器が図2 / 図3の表示となります。>
2. センサの感度調整は、GAIN ANJ⑥によって行います。
3. タイマ1. の調整は、次の順序で行います。

- 1) SELECT③を押す。<表示器①に1が表示されてタイマ1が選択されます。>
- 2) SELECT③を再度押す。<表示器①と②に00が表示されてタイマ1の時間が0.0秒であることを示します。>
- 3) SET⑤をボールペン等の先のとがった棒で押す。<表示器①の0が点滅して1秒の桁の設定が可能となったことを示します。>
- 4) UP④・押す。<このボタンを一度押す毎に表示器①の数字が点滅しながら1・・・9・0・1・・・のように増加し0から9を繰り返しますから、希望するまでボタンを押してください。>

図2  
センサ正常時

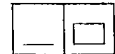
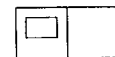


図3  
センサ異常時又は  
センサ動作時



- 5) SELECT③を押す。〈1秒の桁の点滅が0.1秒の桁へ移行して少数点以下の設定が可能になったことを示します。〉
  - 6) UP④によって少数点以下の数値を設定します。
  - 7) SET⑤を押してタイマ1. の設定完了です。〈表示はタイマ1を示す1のみとなります。〉
4. タイマ2. の調整は、次の順序で行います。
- 1) SELECT③を押してタイマ選択の状態にします。〈表示器①にタイマNo.が表示されます。〉
  - 2) UP④を押してタイマ2. を選択します。〈表示器①に2が表示されます。〉
  - 3) SELECT③を押してタイマ2. の時間を選択します。〈表示器①. ②にタイマ2に現在設定されている時間が表示されます。〉
  - 4) SET⑤を押して1秒の桁の時間変更を可能にします。〈表示器①の数字が点滅して時間変更が可能になったことを表示します。〈3-3〉と同様。〉
  - 5) UP④を押して希望する時間を選択します。〈3-4〉と同様。〉
  - 6) SELECT③を押して0.1秒の桁の時間変更を可能にします。〈3-5〉と同様。〉
  - 7) UP④によって少数点以下の数値を設定します。〈3-6〉と同様。〉
  - 8) SET⑤を押してタイマ2. の設定完了です。〈表示はタイマ2を示す2のみとなります。〉
5. タイマ3. の調整は、次の順序で行います。
- 1) SELECT③を押してタイマ選択の状態にします。
  - 2) UP④を押してタイマ3. を選択します。
  - 3) SELECT④を押してタイマ3. の時間を選択します。
  - 4) SET⑤を押して10.秒の桁の時間変更を可能にします。
  - 5) UP④を押して希望する時間を選択します。
  - 6) SELECT④を押して1.秒の桁の時間変更を可能にします。
  - 7) UP④を押して希望する時間を選択します。
  - 8) SET⑤を押してタイマ3. の設定完了です。
6. 出力1. の端子から出る振動機運転出力が有る場合には、表示器②の下半分に表示が出ます。

### (3) FRC-3T

センサ感度調整GAIN ADJ⑥が無い他は、FRC-3TAと同様ですから(2)に示した順序に従って調整してください。

### (4) 注意

1. 通常の場合、表示器①にセンサの状態を表示し、表示器②に振動機運転出力の有無を表示します。
2. タイマ関連の表示状態は、操作をしなくなってから30秒後センサ関連の表示にもどります。
3. タイマの時間変更は、数字が点滅状態の場合にのみ可能で、その他の場合は無効となります。
4. SELECT③とUP④を操作すれば、タイマ時間を呼び出して確認することができます。

*PIEZO*  
*FEEDER* / *P121 (P121-F)*  
*CONTROLLERS* / *P221 (P221-F)*  
*P321 (P321-F)*

ピエゾフィーダーシステム  
コントローラー  
内部配線説明書

～お願い～

この取扱説明書は常に装置の近くに保存し大切に保管して下さい。  
装置を使用する前に必ず読んで十分ご理解頂き、正しい操作によって安全な作業をして下さい。



**sanci**  
株式会社産機

〒455-0021 愛知県名古屋港区木場町8番122

TEL 052-691-1147

FAX 052-692-1915

PシリーズシステムMANUALについて <P121 P221 P321>

システム品については、図のような入出力線及び信号線が接続されております

線の説明を示します

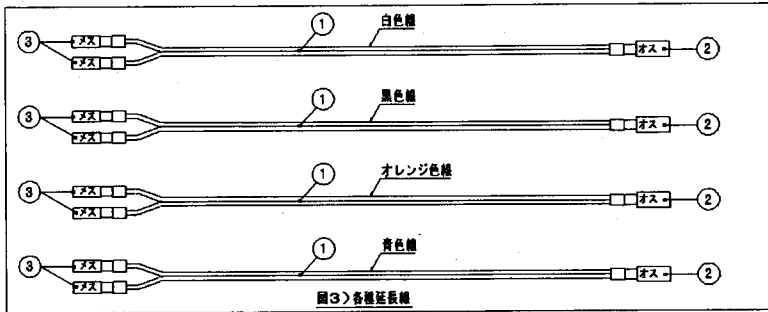
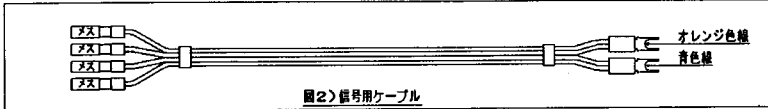
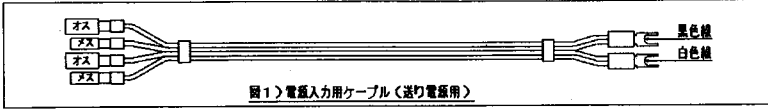


図 No.	ケーブル名称	電線種	長さ	端子			備考
				線色	内容	メーカー名	
1	電源入力ケーブル (送受信電源用)	UL1007AWG22	300	黒	PC2005M PC2005F PC2005M PC2005F	ニチフ ↑	入力用 送り用 入力用 送り用
				白			
	出力用ケーブル	UL2464-1061/2A	300	オレンジ 灰	PC2005F PC2005F		接地側
2	信号用ケーブル	UL1007AWG22	300	オレンジ 青	PC2005F PC2005F PC2005F PC2005F		(+)側 (-)側
3	延長用ケーブル	UL1007AWG22	300	各線色	PC2005F PC2005F		

別紙、図1・図2・図3)の方式で、ユニットから各配線がでております。  
<Pシリーズに限り TYPE P121/P221/P321>  
他のユニットへ接続することで、システムとして運転できます。

- 電源入力用ケーブルは図<表>で示す様に、4芯の電線を使い各ユニットへの電源供給を行っております。線色は従来通り、黒・白に致しました。

当社標準のシステムコントローラではこの線が余ることは有りませんが、非標準の場合最後のシステムコントローラ内ユニットにおいて、送り用が余るケースがございます。内部配線を実施される場合は主電源を遮断確認後、作業を行ってください。

- 信号用ケーブルについては、従来品の信号端子台がコネクタに変わったとお考え下さい。
  - 1) 単独運転される場合は、同色線を短絡<ショート>してください。  
特別な工具はなしで先端にコネクタが付いておりますので、それ同士の同色線同士を短絡してください。
  - 2) 接点信号にて、動作される場合は、青線<ショート>とオレンジ線に接点信号を入れてください。
  - 3) 電圧信号の場合はオレンジ(+ )と青(-)に電圧信号DC12V、又は24Vを双方に投入してください